

Contents

P 2-3 「FUNN活動紹介」 P 4-5 「FUNN加盟団体インタビュー」 P 6 「インターン報告・活動レポート」 P 7 「イベント情報」



FUNN

ネットワークNGOとは？

2月・3月はFUNNでインターンを受け入れを行いました。また、ラジオ番組への出演もあり、FUNNの活動内容を説明する機会が続きました。そのたびに気づかされるのが「ネットワークNGO」「中間支援組織」という形のNGOがある事を知らなかったという方が多いということです。

そこで今回は中間支援を行うネットワークNGOである「特活」NGO福岡ネットワークの事業をあらためてご紹介します。前身の二ノ坂代表の挨拶にあつたようにFUNNは5つのミッションを掲げて活動をしています。

その1

福岡・九州のNGOの活動を支援します。(NGOの活動や運営に関する支援)

その2

より良い国際協力のために政府に訴えかけます。(国際協力に関する調査・提言)

その3

市民に国際協力やNGOの活動を伝えます。(国際協力に関する情報・学習機会の提供)

その4

国際協力活動を担う人材を育てます。(NGO活動に関する人材育成)

その5

市民・NGO、企業、行政、教育機関などをつなげます。(NGO間および各種団体との連携促進)

それぞれのミッションの達成のためにどんな活動を行っているかお伝えします。

また、「コロナウイルスの影響で人々の暮らしが変わる中、FUNNはどんな形で対応していくか。対面できなくてもできる支援は？」ということも考え、また検討段階ではありますが2020年度のFUNNの展望をお知らせいたします！

NGO相談員

「国際協力に、関心はあるんだけど、何から始めたらいいの?」

「NGOってどんな活動しているの?」
そんなみなさんのお悩みに私たち

FUNNがお答えします!

NGO相談員とは、国際協力分野で経験と実績をもつ日本のNGO団体が外務省の委嘱により「NGO相談員」となり、NGOの国際協力活動・NGOの設立・組織の管理・運営など、市民やNGO関係者からの質問・照会にお答えする制度です。

NGO福岡ネットワークは外務省から委託され、この事業を2000年から継続して取り組んできている実績があります。



九州地域のNGO向け組織強化研修

九州地域のNGO向け組織強化研修「解決したい気持ちを形に変える」をテーマに約3年間かけてじっくりと取り組める九州地域のNGO向け組織強化研修を実施しています。これまでの活動の振り返り今後のより良い活動を目指します。これまでに5回の集合研修を実施。現在はその時に作成したアクションプランの実施状況をヒアリングし、フォローアップを行っているところです。

※この研修プログラムはJICAの「NGO等提案型プログラム」の支援により、FUNNが企画・運営を行っています。



倶楽部FUNN

倶楽部FUNNとは、事務局長が腕をふるう各国料理に舌鼓を打ちながら、いろんな国のお話が聞ける交流イベント。「なんとなく国際協力に興味があるんだけど」という方から、「アノ国の話だつて?聞きたい!」という方や、「ちよつと旅行に行く予定のある国の話だったから聞きたい!」という方まで気軽に参加できる『集いの場』です。

初めての方も大歓迎。ぜひお気軽にお越しください! ※現在開催延期中。次回開催が決まりましたらウェブ・SNS等でお知らせします。

政策提言活動

国際問題の調査・研究および国際機関・政府等への政策提言活動を行っています。

(活動例)

■ NGO・外務省定期協議会 ODA政策協議会 / ODA政策協議会コーディネーターとして参加し、外務省とNGO間の調整や議題の調整等の業務を担います。
■ NGO・外務省定期協議会 連携推進委員会 / 連携推進委員会の委員として参加し、全国の現場で活動するNGOと連携しNGOの立場から外務省と協議を行います。

■ NGO・JICA協議会 / NGOとJICAの対等なパートナーシップに基づき、より効果的な国際協力の実現と、国際協力への市民の理解と参加を促進するための意見交換であるNGO・JICA協議会に参加します。コーディネーターとして参加しました。

■ 市民社会スペースNGOアクションネットワーク / 広く市民社会組織として、国際協力NGOとして、市民社会スペースを確保し国際協力NGOが相互に協力する仕組みとして設立された市民社会スペースの構成団体として関わります。

NGOカレッジ

一般市民を対象に国際協力の理解・参加促進を目的とした国際理解事業を企画、実施しています。2019年度は持続可能な開発目標(SDGs)をテーマに5回の連続講座を実施。第5回目にはフォトジャーナリストの安田なつきさんをお招きしてシリアでの取材活動などについてお話をお聞きしました。

九州地域NGO活動助成金

九州地域のNGOの活動を支援する助成金事業を運営しています。

2019年度は組織基盤整備の支援・プロジェクト支援の2部門で募集し、7団体からの応募があり、外部有識者等による選考審査会の結果、6団体の事業が採択されました。

※この助成金プログラムは宗教法人真如苑の支援により運営されています。

【採択事業例】

職業性ストレス簡易調査票(57項目)多言語化事業 / (特活)トウマンハティふくおか
 常時50人以上の労働者を使用する事業所において義務付けられているストレスチェックの外国語版を整備する事業。7か国の「職業性ストレス簡易調査票(57項目)」無料で公開することにより、全国の多くの企業が自由に活用できるようになり、就労トラブルを未然に防ぎ、ストレスフリーな多文化共生社会の構築のために、受入企業に対する多文化理解の促進と、外国人労働者へのメンタルヘルスの重要性を伝えていくことを目指しています。

FUNNの活動のことがすぐわかるラジオ番組が公開されました。



すぐ聴くにはこちら

Let's Ask Funn! ~国際協力が気になったらFUNNへ行こう~
https://lovefm.co.jp/d_lounge/blogs/podcast

ラジオ番組で知る・NGO相談員とは？福岡の多言語放送局 LOVE FMにて「NGO相談員」制度のご紹介をするコーナーをオンエアしました。NGO相談員に対してどんな質問が届いているのか？実際の例をもとに分かりやすくお伝えします。「こんな内容で質問してもいいのかな？」というかたの疑問に答える内容で、国際協力やNGOのことを知ることができるともお話も多数。

現在は、ポッドキャスト(音声配信)で聞くことができますのでぜひお聴きください。

こんなこと企画します

現在、コロナウイルスの影響のため世界中で人々の暮らしに変化が出てきています。JICA海外協力隊は引き上げになり、関係のあるNGO団体からは外出禁止令が出て日本に帰れなくなったという声を聞きます。FUNNの活動についても倶楽部FUNNの延期や、対面での打ち合わせの自粛など、変化が表れてきています。

そこで、対面でもできる活動はないか？というところでオンライン会議システムのZoomを利用した講座をすることはできないかと検討をしています。NGOカレッジなどでお世話になった関連団体さんとともに、現在鋭意研究中です。お知らせできるようになりましたらFUNNのウェブサイト・SNSなどで告知しますのでぜひチェックをお願いいたします。



オンラインでの講座実施に向けて
 機材や企画構成のテストをしています。

加盟団体インタビュー

JVC九州ネットワーク

JVC九州ネットワークの代表である安村さんに団体の運営や活動について取材させていただきました。

JVC九州ネットワークは、福岡を中心とした地域発、草の根からの国際協力を行っています。例えば、JVCカンボジアの持続的農業と農村開発プロジェクトの支援などがありますが、他にも、安村さん宅でミニバザーとお茶会を開きながら、国際協力についてお話しをすることもあるそうです。

団体設立のきっかけ

JVC九州ネットワークは1991年にJVC日本国際ボランティアセンターの元エチオピア担当スタッフの安村さんの呼びかけにより発足された



太宰府でのバザーの様子

任意団体です。安村さんはエチオピア現地から九州に戻ったあと、エチオピアのスタッフを九州に受け入れ、農業や村おこしの研修を行いました。そのことを皮切りに、JVC本部と活動理念を共にしながら、九州で独自にできる国際協力を進めようと、団体設立に動き出しました。

※JVC(本部)とは：1980年にインドシナ難民の救援を機に発足し、現在、アジア、アフリカ、中東の国地域で活動している国際協力NGOです。環境保全型の農業を通して農村の暮らしの改善に協力するほか、紛争の影響がある土地では、医療をはじめとした人道支援を行っています。

約30年間での活動の変化

団体設立当初はいわゆるNGOの黎明期で各々の団体が各自で活動しているといった感覚があったそうです。しかし時を経てNGOの認知度が上がってくる、FUNNが中心になり働きかけることで、NGO同士のネットワークが強化され、お互いの課題や情報を共有する場が増えたと感じるようになったそうです。

また、団体の活動規模にも変化がありました。初期は頻繁に天神でセミナーを開いたり支援国へのスタディツアーを行っていました。しかし、個々のメンバーが置かれる状況の変化にあわせ、セミナーの回数を大幅に減らしました。今では、自分たちの生活に身近なこ



カンボジアの村での漬物交流

ろでの活動。安村さん宅でのオープンハウス等にシフトし、負担にならない範囲で活動を継続しています。

現地の方々と接する中で感じること

カンボジアの農村に行ったときにはどこか懐かしい気持ちを抱かれたそうです。それは田園風景からだけではなく、人々のつながりの強さ、親切さから感じたといいます。安村さんが村を訪ねると、どこからともなく多くの人々が集まり、歓迎してくださったそうです。今の日本では地域における人と人とのつながりが希薄になっていることを憂いながらも、現地の人々のあたたかさを感じたといいます。

現在と今後の組織運営について

現在はメンバーの年齢層が上がっていることもふまえ、無理のない範囲で活動を行うことで、運営の継続ができています。自宅でフリーマーケットを行ったり、地元イベントに団体として参加することで、自分の身近にいる全く国際協力に興味がない人たちにも知ってもらうことを狙っています。今後も、市民の誰もが参加しや

すい国際協力の形を実現させながら活動を進めていきたいとのことでした。

(取材の感想)

これまではNGOへの参加には国際協力についての知識が必要で、少し勇気がいるようなものだと思っていました。また、運営については資金運用や事務の仕事など、とても複雑なイメージもありました。しかし今回の取材を通して、どんな人でも参加しやすい国際協力、そして自分たちのキャンペーンに合わせた運営を大切にしながら活動をすることもできるということにとても感銘を受けました。多くの人々に協力活動に共感してもらおう方法は必ずしも事業を拡大させることだけではない。身近なところから広げる草の根的な支援方法も忘れてはならないと感じました。

取材：今泉友希(インターン)



国内での活動の様子



JVC九州ネットワーク

〒818-0101 太宰府市観世音寺 5-1-4 6
TEL : 092-921-0696 / FAX : 092-923-1850
E-mail: gfrmc051@ybb.ne.jp

特定非営利活動法人 明日のカンボジアを考える会

2020年の3月をもって団体としての活動を終了する「明日のカンボジアを考える会」。1993年の設立から現在に至るまでどのような活動をしてきたのかを団体の歴史とカンボジアの現状、解散に至った経緯などを代表の安部さんにお聞きしました。

設立から現在までの主な活動内容

「明日のカンボジアを考える会」は内戦で疲弊したカンボジアの人々の自立支援と第3世界の貧困を生み出す構造の廃絶を目指し、カンボジアでの地域開発協力や国内での開発教育などの事業を行うことを目的として設立した団体です。主な活動には、設立から10年間行った農業支援や、その後5年間行った伝統的な絹織物の復興支援があります。この絹織物の復興支援は、学歴のない人でも仕事を求められるよう



2005年、農村の草ぶきの家。現在はほとんど見られない

2009年のプノンペン



2018年のプノンペン

にしよつという考えのもと始められた活動ですが、資格がなくてもできる、子どもを見ながらでもできるという利点から、当時は200人近い主婦が仕事をすることができました。

設立当初のカンボジアと現在のカンボジアの違い

違いを一言で表すならば『貧富の差が広がった』ということだそうです。いわゆる周辺部、農村の生活水準は今でもあまり変わっておらず、水道が通っていない場所もまだまだあるそうです。逆に都市部は水道設備も比較的充実しており、高層ビルも立ち並び30年前と比べると豊かになっている印象を持たれていました。都市部であるシエムリアップやプノン



1998年当時の写真

ペンでは多くの子どもたちが学校に通っていますが、周辺部ではいまだに学校に通えていない子どもたちもいるそうです。またカンボジアの教育は日本と同じ6年3年3年のカリキュラムで、教科書も無償ということになっていますが、教員の給料が安いのでそれを補うために有料で教材の販売が行われることもあるそうです。

解散の経緯や今後解散を考えている団体に向けて

解散に至った一番の原因は会員の減少だそうです。会費が収入の多くを占めていたため、会員の減少や会費の未徴収が増えるなど団体の存続が難しくなります。他にもスタディツアーを計画してもあまり人が集まらない、団体の高齢化も解散の原因の一つです。法人の解散に関しては、書類の作成、官報への記載などやるべきことはありますが法人を設立する時に比べると比較的容易だと感じられたそうです。また、今後解散を考える団体にはあらかじめ「会員の除名に関する規定を決めておいていただきたい」とアドバイスがありました。「明日のカンボジアを考える会」の場合、解散には会員の

4分の3以上の同意が必要と決めていたそうですが、会費を納めていない方の除名などに明確な規定を設けていなかったため、解散の是非を問うても反応がなかったそうです。定期刊行誌などにて明記しておく必要があるとおっしゃっていました。

安部さんの今後について

「明日のカンボジアを考える会」が発足した1993年当時は日本に来るカンボジア人はほとんどおらず、2010年あたりから徐々に技能実習生として日本に来る人が増えてきました。しかしその中には過酷な労働条件のもと働かされている人がたくさんいます。そのような人をひとりでも減らすため、今後はこれまで外国の方からの相談を受けてきたという経験を生かして特定技能支援機関として活動するそうです。明日のカンボジアを考える会としての法人としての活動は終わりますが、団体の活動目的の一つでもあった『日本人が世界の人々と地球市民として共生する社会の実現に寄与する』の精神をもとに、これからも任意団体として国際協力を続けられるそうです。

「明日のカンボジアを考える会」としての活動は終了しても、団体の想いを実現するためにこれからも継続して活動していく安部さん。今後の活動にも注目です！

取材：岩田崇太郎（インターン）

特定非営利活動法人 明日のカンボジアを考える会

活動期間：1993年4月9日～2020年3月31日

<お問い合わせはこちら>

特定技能支援機関 安部昌明（サポート&フレンドシップ）

〒811-2233 糟屋郡志免町別府北1-18-21

TEL/FAX：092-622-1893

E-mailアドレス：abe-micro@hotmail.co.jp



小学校の改築後、校長からの要請で寄付を渡す様子

インターン報告！

2月～3月に2人のインターン生の受け入れを行いました

FUNNでは2020年の2月～3月にNPO法人ドットジェイピーさんよりインターン生2名を受け入れました。今回の紙面作成や加盟団体情報の整理、活動のPRなどを事務局と一緒に行いました。

岩田崇太郎

FUNNでの活動を通して私は「新しい国際協力の形」を見つけました。これまでは、現地での活動＝国際協力だと考えていたので、様々なNGOの活動を陰から支援するFUNNの活動の仕方は私にとって驚きだったのと同時に、国際協力という、今までどこかハードルが高いと感じていたものが少し身近に感じられるようになりました。

今泉友希

FUNNでの活動では、イベントへの参加やインタビューなどで多くの国際協力の関係者の方々と出会えて、自分の知らない世界をたくさん知りました。そのたびに自分の興味関心がどんどん膨らんでいくのを感じ、鼓動が高鳴るような充実日々を過ごすことができました。ここで得た数多くの学びの種を今後の大学での学習や将来において生かしていきたいと思えます。



▲今泉友希さん



▲岩田崇太郎さん

「Bangkokラヂッシュと手をつなぐ会」料理教室レポート

2020年2月9日(日)10時～15時、福岡市健康づくりサポートセンター「あいれふ」9階にて、FUNNの加盟団体である「Bangkokラヂッシュと手をつなぐ会」主催の「料理教室2020」が開催されました。参加者は38名と満員。年配の方からお子さんまで幅広く、またBangkokラヂッシュ人4名とハンガリー人1名も参加されており国際色豊かな料理教室だと感じました。半数以上が初参加ということでした。

まずは講師のカジ・ジュエルさん(Bangkokラヂッシュ出身)から作り方のお手本を見せてもらいました。今回のメニューは、チキンカレー、ピアージュ(玉ねぎとレンズ豆のかき揚げ)、ライスブレイングチャイの4品。いずれもBangkokラヂッシュの一般家庭の料理です。

参加者のみなさんにとっては初めてのメニュー。辛さは？ 揚げ具合は？ ライスブレイングの硬さは？ 少し戸惑う場面もありましたがジュエルさんや手をつなぐ会のスタッフの方が頻りに各テーブルを確認しに来てくださったおかげで、おいしく仕上げる事ができました。調理の過程からも食文化の違いを楽しむことができました。

食事後の交流会では、「Bangkokラヂッシュと手をつなぐ会」の代表の二ノ坂氏からの団体紹介を聞きました。そして参加者の自己紹介が行われました。

みなさんの参加動機は様々で国際交流に興味のある方、友人からの誘いで参加したという方もいました。その中で私が一番気になったのは、「様々な国の料理に興味がある」という方です。「Bangkokラヂッシュの料理をぜひ習いたい」とのことですSNSを通じてこの会に参加したそうです。そのほかインドやスリランカの料理教室に参加したことのある方も複数いました。

参加者のみなさんからは「料理を通じて異文化交流ができて良かった」、「配布されたレシピやスパイスの詳細な説明書などを活用して家でもう一度作ってみよう」、「とても楽しかったので来年もまたぜひ友人も誘って参加したい」などの感想がありました。

「なるほど！」と思ったのは、レシピを配布することで再度作ってもらえるようにしたこと。Bangkokラヂッシュへの興味が一過性のものではなく持続性のあるものになるよききっかけになっているのではないかと思います。興味をもってくれる人を一人でも増やし、支援の輪を広げていこうという地道な努力の活動過程が垣間見えた料理教室でした。

手をつなぐ会によるBangkokラヂッシュ料理教室は一年に一回開催されています。次回開催時にはぜひ参加されてみてはいかがでしょうか？

レポート：今泉友希(FUNNインターン)

(特注) Bangkokラヂッシュと手をつなぐ会

Bangkokラヂッシュ・カラムティ村で小学校や医療センターなどの設立・運営を行っている現地NGO「ジョンダンニジョンスタ」に活動資金を提供している。日本国内においてはチャリティーコンサートやチャリティーバザーなどの様々なイベントを開催し、支援活動を広めている。
Facebook: <https://www.facebook.com/fewotunagukai/>



Event Information

FUNN周辺の"耳より"イベント情報



多言語版コロナウイルス情報

自治体国際化協会（クレア）では、多文化共生ポータルサイト等で、新型コロナウイルス関連の情報提供を行っています。相談窓口対応、外国人住民や訪日外国人向け情報提供等にご活用ください。

多文化共生ポータルサイト：
<http://www.clair.or.jp/tabunka/portal/info/contents/114514.php>

認定NPO法人 地球市民の会

NPO法人地球市民の会奨学金 さとおや 2020年度募集

子どもたちの夢と一緒に追いかけてませんか？*月1000円でできる国際協力*あなたの思いやりの心が1人の子どもの夢をかなえます。

■募集締切：2020年9月30日

■申し込み方法：電話・メール・HPにて申し込みいただけます。

■支援の詳細：

①ミャンマー タンボジ奨学金

（月1,000円×3年間）

②ミャンマー シャン奨学金

（月2,000円×3年間）

③スリランカ シショダヤ奨学金

（月1,000円×4年間）

支援する里子と手紙での交流も可能です！

地球市民の会は 国税庁長官から「認定特定非営利活動法人（認定NPO法人）」と認定されました。皆様方の寄付は税の優遇措置（寄付控除）の対象になり、税

金が返ってきます。様々なケースがありますので近くの税務署か税理士にお尋ねください

■連絡先：認定NPO法人地球市民の会
TEL：0952-24-3334 / Mail：office@terrapeople.or.jp / ウェブサイト：
<http://terrapeople.or.jp>

助成金情報

国際交流、海外協力事業、NGO活動にかかわる助成金に関する情報をピックアップしています。

■助成金情報 サイト

1. 国際協力NGOセンター JANIC

https://www.janic.org/blog/information_category/grant/

2. CANPAN

<https://fields.canpan.info/grant/>

3. JFCWEB助成金検索サイト

<http://www.jfc.or.jp/grant-search/guide/>

NGO福岡ネットワーク

倶楽部FUNN

コロナウイルス感染症が急速に広まっており、収束の道りは遠いと判断し、しばらくの間、倶楽部FUNNの開催を見送ることにしました。再開の際には、別途お知らせいたします。

■詳細はこちら

<https://ngofukuoka.net/clubfunn2003/>

【FUNNのFacebook, twitterフォローのお願い】

FUNNの最新情報を随時更新中です、会員団体の皆様のフォローやFUNNの活動の情報拡散へのご協力をお願いいたします。

■Facebook:

<https://www.facebook.com/FUNN.fukuoka/>

■twitter:

https://twitter.com/FUNN_NGO

メールマガジン配信中
登録はコチラから



【2020年度FUNN会員募集】

FUNNでは活動を継続して支えてくださる会員を募集しています。会員種別の詳しい情報は次のページをご参照ください。

会員申し込みフォームを設置しました。こちらからもお申し込みいただけます。



<https://forms.gle/VYnpzQmX9itgHAGC8>



▲2019年度NGOカレッジ修了証授与式の様子

正会員団体 (24団体)

- * (特活) ISAPH
- * アジア開発銀行福岡NGOフォーラム
- * (特活) アジア女性センター
- * 認定NPO法人ACE
- * (特活) エスペランサ
- * NGO Earth for Children
- * (特活) 九州海外協力協会
- * 債務と貧困を考えるジュビリー九州
- * 佐賀NGOネットワーク
- * JVC九州ネットワーク
- * (特活) じゃっど
- * 認定NPO法人ソルト・パヤタス
- * 認定NPO法人地球市民の会
- * チベットを知る会
- * NPO法人トゥマンハティふくおか
- * (特活) NICE
- * 国際協力NGO NESTEP
- * ネパール歯科医療協力会(ADCN)
- * (特活) バングラデシュと手をつなぐ会
- * PP21ふくおか自由学校
- * 福岡YMCA
- * フレンズ国際ワークキャンプ九州
- * (一社) ドリゼーションプロジェクト
- * モザンビークのいのちをつなぐ会

※2020年4月1日現在

発行回数予定のお知らせ

NGO福岡ネットワーク機関誌「国際協力ニュース」はこれまで年に6回発行することとしておりましたが、発行にかかる経費・時間・情報へのアクセスの多様化から、2020年は年4回の発行の検討中です。機関誌の発行回数が減るかわり、SNSやメールマガジンなど別の方法で、より早く充実した情報をお届けすることを総会にて審議を行います。

編集後記

2020年4月現在、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大を受け、不要不急の外出を自粛する要請が出ています。みなさまもお気をつけてお過ごしくださいませ。【FUNN事務局】

FUNN 応援寄付 募集中!

2020年に、NGO福岡ネットワーク(FUNN)は設立から27年を迎えます。27年前の福岡で、NGO活動に関わる人たちが横のつながりの重要性を感じてFUNNは設立されました。これまで多くの方々のご支援により、福岡や九州を中心としたNGO間や他セクターとのネットワークの構築、地域のNGOや国際協力活動の活性化、市民の国際協力への参加促進等の事業を行ってきました。ご支援いただいております皆さま、本当にありがとうございます。これからもFUNNは、NGOへのサポートや多様なネットワーク構築等により、地球規模課題の解決を目指していきます。国際協力のこれからの考えること、市民の皆様や他セクターとNGOを繋げることに注力していきます。皆さまのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

ご入会をお願い

NGO福岡ネットワークは、NGOとネットワークを作り、会員団体には組織基盤・活動実施能力向上のための研修・学習会、市民の方々にはNGO活動の内容をお知らせし、ともに考える各種活動を行っております。FUNNでは活動を継続して支えてくださる会員を募集しています。

- | | | |
|----------|------------|-------------------------|
| ◆正会員 団体 | 10,000円/1口 | : FUNNの目的に賛同して入会する団体 |
| ◆賛助会員 企業 | 30,000円/1口 | : FUNNの目的に賛同してそれを支援する企業 |
| ◆賛助会員 団体 | 10,000円/1口 | : FUNNの目的に賛同してそれを支援する団体 |
| ◆賛助会員 個人 | 6,000円/1口 | : FUNNの目的に賛同してそれを支援する個人 |
| ◆通信会員 | 3,000円/1口 | : 機関誌の定期購読のために入会した団体や個人 |

★会費・寄付の振込先

郵便振替口座名: NGO福岡ネットワーク 口座番号: 01790-7-89478

※入会のお申込みは、下記連絡先までお問い合わせください。
TEL/FAX: 092-405-9870 Email: funn@ngofukuoka.net

【令和2年度 NGO相談員 を受託しました】

(特活)NGO福岡ネットワークは外務省より「令和2年度 NGO相談員」を受託しました。みなさまからの国際協力・NGOに関する質問にお答えしますのでお気軽にお問合せください。

オンライン相談もOK!

対面だけでなくオンラインでの相談も可能です。ウェブサイトのお問い合わせフォームよりご連絡ください。



福岡で活動する国際協力NGOのネットワーク

NGO福岡ネットワーク FUNN

FUKUOKA NGO NETWORK (FUNN)

〒812-0011

福岡市博多区博多駅前3-6-1 小森ビル4A 福岡NPO共同事務所「びおとーぶ」内

TEL/FAX: 092-405-9870 Email: funn@ngofukuoka.net URL: <https://ngofukuoka.net/>

◆◇NGO相談を受け付けています(外務省委嘱)◆◇

*火~土 13:00~18:00 *日・月・祝…休み

※事務所を留守にすることがありますので、ご来所の際はお電話くださると助かります。

※専用駐車場がありませんので、自動車での来所は、ご遠慮ください。

